

行事／取組名称	国際科学オリンピックのワークショップがやってくる！ 「サイエンスアゴラ 2019」		
担当者	岸本竜太，大倉拓真，喜田輪，菊池祥子，並木雅俊		
開催日時・期間	2019年11月17日	会場	テレコムセンタービル 3F ブース 321
主催	科学技術振興機構	後援	
協力	物理，化学，生物，地学，数学 各オリンピック委員会		
協賛			
概要	サイエンスアゴラ 2019 において「国際科学オリンピックのワークショップがやってくる！」が一つのブースとして企画され，それに協力した。プログラムは，1日目（11月16日）：生物，全体紹介，情報，数学。1日目（11月17日）物理，化学，地学，全体紹介である。「物理チャレンジ：プレチャレンジ」は10時10分から11時30分に行うよう割り当てられた。第1チャレンジの問題から風船と大気圧，第2チャレンジから「真空放電と水素原子のスペクトル」を，実験を通して解説を行った。		
参加者	高校生	中学生	
計6名	高校2年生1名，2年生1名	中学1年生1名，2年生3名	

報告事項

大学1年生（東京大学）の岸本竜太（IPhO2018 候補者）さん，大倉拓真（IPhO2018 選手）さん，喜田輪（IPhO2018 選手）さんが中心となって，高校生・中学生6名に物理チャレンジの問題紹介をした。第1チャレンジの理論問題を，実験を体験してもらいながら，体験してもらった。また，第2チャレンジの実験問題解説は，演示実験で行った。菊池さんと私は，全体的また細かな箇所でもサポートした。

JSTの職員は，物理に出席した生徒は中学生が多かったが IPhO2022 東京大会には効果があるかもしれない，と気を配ってくれた。



問題解説の一場面